

記録映画

『バルチザン前史』

— 120分 — 11月末公開

バルチザン前史

「現在のところ、我々にとって〈暴力〉とはまだ〈憧れ〉にしかすぎない。我々はあまりにも深く〈暴力〉に捉えられ振りまわされ過ぎている。だが、このことに眼をつぶってはならない。目下の急務は、如何に〈暴力〉を主体的に捉えかえし、自からの手の内で自在にあやつることが出来るか、これをぬきにして、我々は〈我々の〉斗争を斗い抜くことは出来ないだろう。

東大・広大型のくり返しの〈決戦〉を許し、その敗北の中から70年代、80年代を見据え、新たな〈党一主体的暴力〉建設のために、自からの光栄ある全共斗にすら訣別しようとする若き学生・研究者たち。

解体=再生を、単にことばの問題としてではなく、内容=行為=生によって、厳格に裏打ちして行くことを引受ける斗いがいま始まる。人民の中へノ内なる帝国主義大学を否定し、自から革命の一兵士——バルチザン——として誕生しなければならなかった1969年9月、10月の斗争は〈憧れ〉の11月決戦を通過しつつある状況を苦渋に満ちながら先取りする。

「三里塚の冬」製作続行

「三里塚の冬」製作協力券はすでに2万枚が札幌、仙台、東京、神奈川、新潟、名古屋、京都、大阪、神戸を中心に配券されている。その人達の支援によって、今まで4万フィートのフィルムがまわり、300本に及ぶ声が録音された。しかし映画を採り続ける限り私達には、今の農民には、あと3万フィートの生フィルムと150本のテープが必要だ。私達はどうしても三里塚で「内側の支配構造、自己の内なる『条件付賛成派』の論理と心情を焼き尽そう」とする青年たちを記録し、一人の年老いた農夫の地底からの怨念を描き出したい。

斗いの火が各地で、各拠点で燃えあがっている今、私達は一方で、三里塚へなおも居座り続けると同時に、映画のもつ一切を現実の中へ投入していく行為も同時に追求していくことを宣言する。

〈弾丸映画〉

一方、5月革命のさなかフランスの映画作家たちは「映画三部会」を結成、

5月のバリケードの燃え上がる中にカメラと録音機を据えて、現実の一つ一つを克明に記録して来た。アメリカでも巨大なマスメディアに盗みとられた状況、斗争をひろい上げ、「この偉大なアメリカの偉大な虚像」をあばき、アジェーションする集団「ニューズリール」がつくられた。これらの映画は全世界的に動き出しており、フランスではシネトラフト（ピラ映画）、アメリカではニューズリールと呼ばれ、イタリアではシネマミリタンテ（戦闘映画）と呼ばれている。

映画を斗いの中へノ

〈弾丸映画〉

- ※ブラックバンサー～白豚を殺せ～（15分 ニューズリール作品）
- ※ストライキノストライキノストライキノ～バリケードの中のコロンビア大学～（50分）
- ※俺はロボットかノ～バリ国鉄労働者～（25分 映画三部会作品）
- ※叛乱～5日 バリ 1968～（25分 映画三部会作品）
- 〈小川プロダクション作品〉
- ※青年の海～通信教育の学生たち～（1966年製作 50分）
- ※庄殺の森～高崎経済大学斗争～（1967年製作 100分）
- ※現認報告書～1967年10月羽田斗争～（1967年製作 60分）
- ※日本解放戦線三里塚の夏～新国際空港設置反対斗争～（1968年製作 105分）

以上の作品が、いま我々の手もとにある。これら斗いの中から産み出された映画を更に斗いの中によみがえらすべく、あらゆる地点で積極果敢な上映運動を展開しよう。そのことが、いま取組まれている「三里塚の冬」「バルチザン前史」の製作・上映を保障するものであることを、あらためて確認したい。

上映の問合せは下記に

大阪市北区浮田町32 松田ビル

小川プロダクション TEL (06)371-2096